

# 今秋までに本堂内陣が生まれかわります!



内陣床漆塗補修などの工事のため間仕切りされた本堂 (25.4.9)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会(であ)いの時間

## 小僧の目

▼大変悲しいことですが、いまだに仏壇やお墓を、亡くなった人のおさまる場所、ご先祖の住み家と考えて、位牌中心の人が少なくありません▼全くの間違ひではありませんが、お仏壇は大切な方が往かれた、お浄土を表しているのであり、小さな自我の殻の中に閉じこもっている私を「どんなことがあっても、必ず救う、まかせよ」と誓って下されている阿弥陀さまの、お浄土を表しているのです▼従って、私達は方角にとらわれずに家の中で一番いい場所に御本尊、阿弥陀さまを中心にお仏壇を安置し、報恩感謝のお参りをします▼あなたの大切な、ご先祖やあの人は、いま、阿弥陀如来さまに抱かれて、お浄土と言う世界に生き生まれ、生きられているのです▼仏説阿弥陀経の中には、「その世界」のことを極楽浄土と説き「もろもろの苦あることなく、ただもろもろの樂を受く」・極楽国土には七宝の池あり、八功德水の中に充滿せり、池の中には金の砂をもつて、地に布けり、金・銀・瑠璃・玻璃合成せり云々」とあります▼それを最もよく表しているのが、京都本山西本願寺の阿弥陀堂や御影堂の内陣の荘厳(おかざり)であります▼お寺の本堂内陣は、みなさまのお家のお仏壇のお手本です▼前号でお知らせの通り、今後は、耐震補強も出来た本堂内陣の荘厳に力を注ぐ時と考え、その手始めとして内陣床を中心とした黒漆蠟色仕上げの事業を発願したところ、思わぬ多額な永代経懇志(永代経については、敬念寺だより第九十号に詳細説明)のお申し出があり、今までお預かりしていたものを加え、別に掲げるような大きな事業となりました▼皆様の崇敬する敬念寺は、一部はお盆までに、全ては秋彼岸までに一段と整った姿でお目見えすることとなります▼今年の報恩講は、初の永代経法要との併修となります  
釋 玄真

### 寺院行事

- 6月16日(日) 第2回早朝公開講座 前 7:00  
講師 金松敏也先生 (横浜市)
- 7月13日(土) 第30回ファミリー参拝 後 6:00
- 8月1日(木) ~10日(土)  
第34回早朝連続参拝 前 5:30
- 8月4日(日) 新盆合同法要 前10:00  
講師 赤川浄友先生 (東京都)
- 8月16日(金) 孟蘭盆法要 前10:00

### 定例法話会

- 6月20日(木) 講師 増井浄見先生(兵庫県)
- 7月20日(土) 講師 青木哲静先生(富山県)
- 8月20日(火) 講師 業田昭映先生(須坂市)
- 9月20日(金) 講師 青木長生先生(栃木県)
- 10月20日(日) 講師 高島正鶴先生(兵庫県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

# 平成二十五年度年次総会開催さる

## ―御世話人の異動―

四月二十七日付

**退任** 長い間ご苦勞様でした。

- 鬼窪 巖さん (山下町二)
- 横川 文昭さん (本町三)
- 滝澤 友美さん (大栄町一)
- 飯吉 袈裟雄さん (長地権現町三)
- 栗津原 松雄さん (神明町三)
- 平林 弘さん (長地出早二)

**新任** よろしくお願ひします。

- 鬼窪 基博さん (山下町二)
- 早川 清さん (本町三)
- 赤羽 一徳さん (中央町二)
- 白澤 彰さん (大栄町二)
- 中村 正樹さん (長地権現町四)
- 青木 一男さん (神明町三)
- 高橋 茂さん (長地出早二)

平成二十五年度敬念寺門信徒会年次総会が四月二十七日開催された。勤行に続き、新任お世話人の紹介と委嘱が行われた後、六十名のお世話人(代議員)の出席を得て総会を開会、議長に松本宣佳氏を選出し議案審議が行われた。

平成二十四年度事業・決算報告が会長・各委員長から報告され、これを承認。会長からの事業報告では、昨秋、営繕積立金により緊急実施された、厨房水道配管更新及び関連工事の説明が行われた。続いて、平成二十五年度事業計画及び予算を原案どおり承認し閉会となった。なお、事業計画では、営繕積立金による改修工事で、参拝ホール白木部分保護(塗装)工事、南側塀両面の保護工事、本堂鉄部塗替え工事が提案された。

(六頁に工事個所の写真掲載)

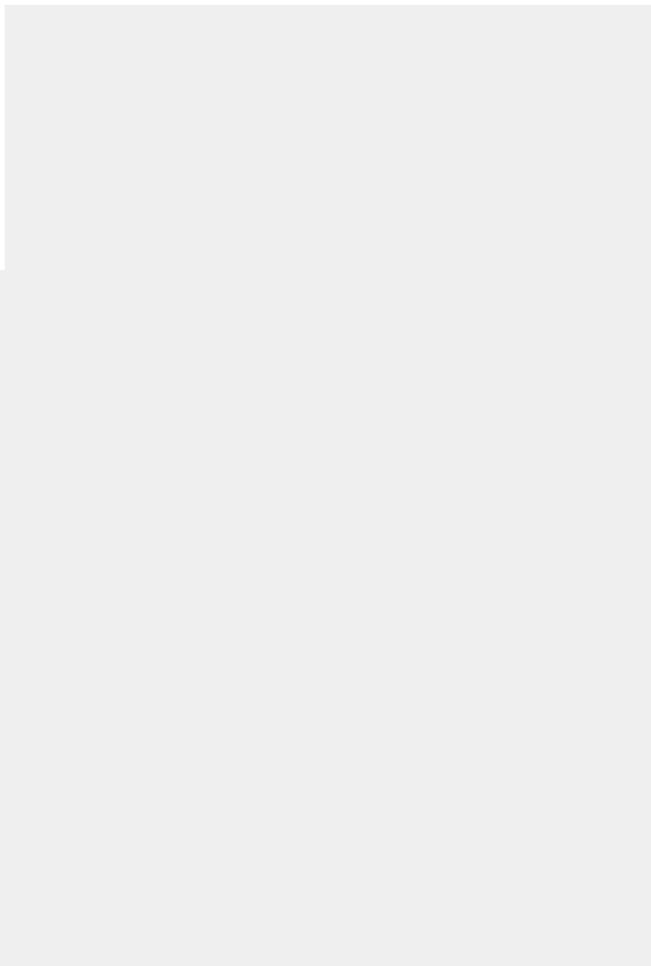
ご住職は挨拶の中で、現在進めている本堂内陣床黒漆塗り等の工事について説明された。当初計画より工事内容が拡充されたため、内陣工事の完了は、部分的にはお盆までに、全ては秋彼岸までになること、寺でのご葬儀・法事等は本堂で支障なく行えることなどの説明があった。



お世話人を委嘱する住職



総会前に本山大遠念法要の記録DVDを鑑賞



# 本堂内陣の荘厳一段と輝く!

―秋までに内陣床黒漆塗り工事ほか施工―

『姉妹の残していった財産を私事だけに使つては申し訳がない。葬儀の時には、あわたたしくて、形かたちの如くのお布施だったので、お寺が存続する限り、その遺志が残つていくものとして、その財産を永代経懇志として上納したい。また、残り少ない人生、自分の遺志を元気のうちに捧げたい』等、永代経の輪が有り難い形で広がっています。

◎登高座・礼盤一式、新品同様修復 など

本堂内陣の荘厳は、際限なく、まだまだ、ありますが、おかげさまで、同宗派のお寺さんに肩を並べられる立派な内陣となります。

そのことを喜ぶ法要が、永代経法要と言ひ、その寺院に所属している門徒、あるいは縁者の人で、すでに故人になった人の徳を追慕し、報恩の心で営む法要です。

今秋お彼岸までには工事が完了する予定であり、今年の報恩講では、永代経法要を併修することができるものと思ひます。

この度、住職の発願・自費で本堂内陣の荘厳、床黒漆蠟色仕上げをするにあたり、せっかく「間仕切り」の大掛かりな工事をするのであるから、一緒に出来ることを、と多額の永代経懇志のお申し出を戴き、背中を押される形で今までの浄財を加え、次の仏具が修復、整えられることになりました。

◎本堂内陣欄間牡丹彫刻、純金箔押し仕上げ

◎六鳥型前卓純金箔、彫刻金彩仕上げ

◎巻障子框蠟色研ぎ出し仕上げ・和紙張替



間仕切り前最後の日曜礼拝 (25.4.7) 一欄間・巻障子などが外されている

しょう しき  
**青 色**  
しょう こう  
**青 光**

五十八回

高齢者の生甲斐をお手伝い

佐藤 清子 さん  
岡谷市天竜町



とつても朗らかな佐藤さんが主宰しているのは「めだかの学校」。一見、子供を対象とする学習教室かなと思えるかわいらしい名称ですが、違います。それは家にも通所のおられるお年寄りの方々が楽しく暮らして満たされ、「今日は楽しくてよかったね」と思っている、NPO法人宅老所「めだかの学校」です。

七年前、大変理解のあるご近所の女性の方々のご協力を得て、組織化して立ち上げました。目的は学習療法(脳トレ)・音楽療法により、認知症の予防をすること。佐藤さんが長年ボランティアに関わってきた仲間の方々の協力をいただいで運営しています。利用者の皆さんは、何もすることが出来なくても、その場に居るだけでよいからと来てくださり、自分の居場所として過ごし、素敵な笑顔が絶えません。佐藤さんは「公文」学習教室を二十五年間主宰されていました。かねてから、近くに住むお年寄りが集まって楽しく過ごせる場を提供したいと思ひ続けていました。が、ご主人の理解と協力、それに地域の多くの方々の絆と信頼があつて、この思いが叶いました。「めだかの学校」に通われている皆さんは、笑いの渦に囲まれながら、ますます幸せな時を過ごされることと思ひます。寺婦人部役員や早朝参拝で感話をされた佐藤さんですが、今は感謝の心で日々過ごされています。取材にはご主人も同席されましたが、お話しをお聞きする間、奥様の思いに沿うように優しくうなずかれており、その様子を拝見しながら、清子さんは幸せな方だなあと感じました。

(滝川 記)

平成二十五年度  
―各種教化事業のお知らせ―

今年も各種教化事業が目白押しです。多くの皆様のご参拝、ご参加お待ちしております。



◎第三回敬真会例会

青壮年の皆さんの会です。本堂で「おまいり」したり、話しを「聞き合い」、お茶を飲みながら「話をしたり」する気楽な会です。次回のテーマは「死ねばおしまいか?」です。どなたでも参加できます。参加大歓迎!

六月十三日(木)午後七時から



◎コールガンダー

(仏教讃歌を歌う会)

例会のお知らせ

・毎月第二火曜日午後一時〜三時  
・毎月二十日七時 法話会終了後  
随時入会・参加を受け付け中  
楽しいひと時をご一緒に!  
楽しく歌いましょう!

◎第二回敬念寺早朝公開講座

六千メートルの深海で海洋地質などの研究に携わっている先生をお招きし、鉱物資源の宝庫である深海、地震のメカニズム等興味あるお話しをお聞きます。どなたでも参加できます。・

六月十六日(日)

午前七時〜八時半

講題 深海の不思議と地震の温床  
講師 金松敏也先生(理学博士)  
主催 敬念寺敬真会  
後援 同 門信徒会



◎第三十回敬念寺ファミリア参拝

ファミリア参拝は唯一、お寺の子供中心の「楽しい集い」です。今年も!今年は!今年こそ!お寺へ行ってみよう!

お友達やご両親・祖父母もご一緒に。皆でおまいりしましょう!

七月十三日(土)午後六時

内容は?お参り?ゲーム・流しソーメン・綿あめ・ポップコーン・かき氷など

◎第三十四回早朝連続参拝

八月一日(木)

八月十日(土)

朝五時三十分〜六時三十分

夏の朝はつらいけど、元気で生きているから参加できるのです。身体が都合で、家の都合で、参加できなくてもそれまでです。

少し無理はするけれども、参加した朝の気持ち良さと充実感は、参加したものではなければわからないと思います。

毎年、多くの方が十日間皆勤で参加しています。

今年も大きな声で「帰命無量寿如来」と唱和し、お話しに耳をかたむけましょう。



コールガンダー練習の様子 (25.4.9)

平成25年度 婦人部活動計画

- ☆総会 5月1日
- ☆本山御堂演奏会への参加 11月22日
- ☆コールガンダー 毎月第2火曜日・20日
- ☆寺院清掃奉仕活動 毎月第1日曜日6:00
- ☆長野教区総会・松本組総会参加
- ☆市仏教婦人部研修会参加

婦人部・コールガンダーには  
随時入会できます!



「五ページ四段目から続く」

心の中にいてみまもっていてくれる。「目で見えないし、会ってお話しすることもできない。だけれどいなくなってしまうたではなく、ほとけさまとなつて、新しい歩みをするのだよ」

私は、これからも心の中にお爺ちゃんに成長をみてもらい、ほめてもらえるように努力したいです。今までありがとうございます。(故足助政文さんのひ孫)

— 投稿特集 —

悲しみや寂しさなど、逆境を乗り越えて 私は・・・

父への感謝

岡谷市 福田 佳代

昨年四月二十二日に父が亡くなり、早いもので一年が経とうとしています。父が亡くなった直後は通夜、告別式の準備など慌ただしくしておりましたが、それらを無事に終え日常に戻った時、家の中には父の洋服、履いていた靴、食べかけのお菓子など、昨日まで父が使っていたものが当たり前のように、いつもの場所に置かれているのに、それらを使う父はもういないということを感じ、大きな悲しみと寂しさを感じていました。

ずっと一緒にいた家族が亡くなるということは、いつかはやってくると覚悟はしていましたが、実際にその時がやってくると、思っていた以上にショックな出来事で、いまだに寂しく思っています。

そして、もっと父と色々な話しをすればよ

かった、親孝行が全くできなかったと感じた一年でもありませんでした。

しかし、これからはこの様な後ろ向きな考えではなく、直接父に言うことはできなかつたけれど、「今までどうもありがとう！」という気持ちと、ご住職から幾度となくお話し頂いた、父のおかげで今の私たちが有る「おかげさま」という父への感謝の気持ちを忘れず、母と一緒に一日一日を大切にしていこうと思います。

おかげさまで、本日一周忌の法要を無事終えることができました。「お父さんどうもありがとう」



三十三回忌を終えて

松本市 伊藤 順子

私が小学校六年生のとき、父が病気で亡くなりました。まだ、四十六歳の若さでした。

父亡き後、私はただただ悲しくて、毎日泣いていました。母も、これからどうしたらいいのか途方にくれていたと思います。女手ひとつで、二人の娘を育てるようになって、生活も苦しかっただろう

し、つらくて泣きたい日もあったでしょう。

それでも母は、愚痴ひとつ言わず、来る日も来る日も私たちのために働いてくれました。

そして、どんなに忙しい朝でも、仏様のお茶やご飯を替えてお線香をあげ、それからゆっくりと手を合わせ気持ちを込めて念じていました。昨日はこんないいことがあったよとか、こんなときどうすればいいのとか・・・まるで会話でもしているようでした。

そんな母の後ろ姿を見ていると、父がいつもそばにいてくれるような気がして、寂しい気持ちでいっぱいだった心が、ほっとあたたかくなりました。

その後、何年か経って姉も私も結婚し、子どもにも恵まれ、それぞれ家族ができました。

過日、三十三回忌を終えることができた時、こうして生きてこられたのは、仏さま（阿弥陀様）や仏さまのおそばにいる父が、ずっと見守ってくれたおかげだなあとあらためて感じました。

そして、ご住職のお話しにあったように、人と人との『縁』を大切にし、「おかげさま」という感謝（御恩報謝）の気持ちをいつも忘れず、これからも生きていこうと思えます。

心の中に

富士宮市 若林 梨央

今から十九年前、ひいお爺ちゃんに病に倒れ、寝たきりになってしまいました。

私は今、十三才です。ですからその時の、また、それ以前のことにはよく知りません。私の知っているお爺ちゃんは、いつもベットにいました。だからお爺ちゃんとの思い出はとても数少ないです。

お見舞いに行つて、話しかけると、つらそうな時でも答えてくれたり、帰るときには泣いて、さみしがつてくれたりしました。周りのみんなにしたわれ、やさしいお爺ちゃんに、私が聞いた最後の言葉は「元氣になつて海が見たい」でした。つらそうな口調の中、これが最後のお見舞いにならなければいいな、と信じながら聞きました。しかし、九十年間炎を出して燃えた生涯は幕をとしてしまいました。私はさみしくて、悲しくて心が破れつしてしまいそうなおもいででした。

お葬式で、その思いは少しやわらぎました。それは、住職さんの言葉があつたからです。「今は、お爺ちゃんが亡くなつてお骨になつてしまつたけれど、いつも私達の

【型紙四段目へ続く】

トピックス!

栄えある日展入選作品紹介!

様々な分野でご活躍されている門信徒の皆様ですが、今回は、日展に入選されたお二人とその作品をご紹介します。

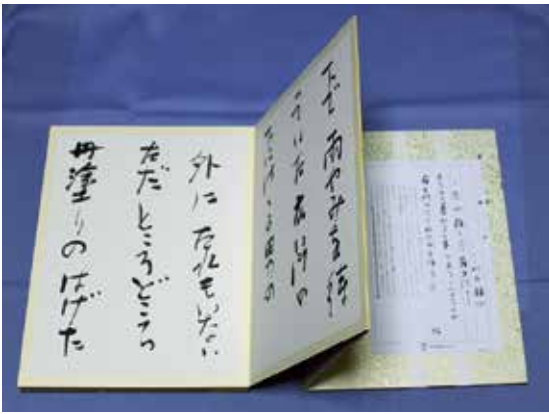
北嶋裕子さん(岡谷市郷田)

日展入選 陶芸

村石龍仙さん(岡谷市山手町)

日展入選 書

装丁された作品



村石龍仙氏日展入選作品の書：「羅生門」の文章を帖(半紙)に揮毫

北嶋裕子さん日展入選作品の陶芸  
作品名「彼方」



会館に木版画寄贈される!

この度、大栗町小林えい子様から国際的木版画家・宮本秋風氏の作品が寄贈されました。ご参拝の折にはぜひご覧ください。



国際的木版画家宮本秋風氏作 版画「湖愁」

今年度の営繕特別事業による工事実施個所の現況



▲塗装が劣化している本堂鉄柱と窓格子

▲参拝ホール白木部分と板塀：雨風により「染み」が見られる▲

門信徒会費

七月末日までにご協力お願い  
今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費のお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。

〇ご依頼額は年間三千元以上

編集後記

昨年より十日ほど早く咲いた桜の花に、時ならぬ雪が冠するなど、寒い日の多い今年の卯月でした。人間の力が及ばない自然の営みですが、地球の温暖化などと聞くにつけ、私たちの生活によりそれを壊しているのではないかと、少し心配になります。

前号に続き、今号でも紹介したように門信徒崇敬の場所である、本堂内陣の床漆塗り等の工事が行われています。秋には、立派に荘厳された内陣が姿を現します。これを契機に、より多くの皆さんが本堂に参拝されることと思います。朝七時からの日曜礼拝、二十日の定例法話会等々、お寺は皆さんに開かれた聞法の間・時を用意しています。お誘い合わせてお出かけください。

(白田 記)